

千歳市教育委員会だより

からふる



「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

千歳市・指宿市青少年相互交流事業

千歳市・指宿市青少年相互交流事業の相互往来を4年ぶりに再開しました（令和2年度～令和4年度はオンラインで交流を行いました）。7月28日（金）から31日（月）まで、市内の小学6年生12名が姉妹都市である鹿児島県指宿市を訪れ、指宿市の児童との交流を深めました。平成6年の姉妹都市提携の翌年から始まった両市小学生の相互派遣交流事業は、今年で29回目となりました。

【1日目】

指宿市では、たくさんの人たちが
出迎えてくれました！

休暇村指宿で入浴・夕食を済ませ
た後、開聞総合体育館でレクリエー
ションを行い、かいもん山麓ふれあ
い公園のログハウスに宿泊しました。



【指宿市での歓迎式】



【日本最南端のJR駅「西大山駅」】



【楽しくて美味しい「そうめん流し」】

【2日目】

海の神様を祭っている枚間（ひら
きき）神社、日本最南端のJR駅で
ある西大山駅を訪問しました。

また、池田湖でのマリンスポーツ
や、鹿児島夏の風物詩である「そ
うめん流し」、オリビン（カンラン石）
採集体験など、指宿市ならではの体
験を満喫しました。



【池田湖でバナナボート♪】



【枚間神社でおみくじ】



【お別れ式～冬にまた会いましょう★】

【3.4日目】

3日目は、指宿市の児童の各家庭
にホームステイし、事前に自分で決
めた研究テーマに沿って指宿市のこ
とを学びました。

4日目は、昼食で郷土料理の鶏飯
（けいはん）を食べた後、千歳市へ
帰ってきました。

とても充実した4日間でした！

千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。
URL : <https://www.city.chitose.lg.jp/>

千歳市 からふる

検索



令和5年度 主な教育施策の概要

令和5年度の教育予算は、年度当初に計上した「骨格予算」と、6月に補正予算として計上した「政策予算」を合わせ、総額約37億2千万円で、内訳は下記円グラフのとおりです。

『まるごと千歳・すべての学びを支えるまち』を基本とした教育施策を一層推進します。

デジタルAIドリル導入



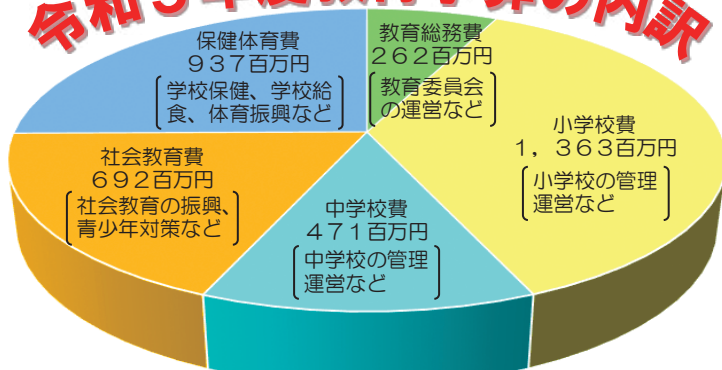
小中学校に整備しているICT環境を有効に活用し、**家庭学習の習慣化を図るため**、市内小中学校へ**デジタルAIドリル**を導入し、学力の向上を目指します。

小中学校保健室にエアコン設置



児童が暑さなどにより体調を崩した際、適切な環境で応急処置ができるよう、**小中学校の保健室に令和6年度までの2か年でエアコンを設置**します。

令和5年度教育予算の内訳



【歳出合計：3,726百万円】
※幼稚園費、大学費を除く

新学校給食センター整備 基本計画策定

「千歳市新学校給食センター整備に向けた基本構想(改訂版)」に基づき、現在の学校給食センターが抱える課題に対応し、**より安全で安心な学校給食の提供が可能な施設を整備するため、新学校給食センター整備基本計画を策定**します。



令和6年4月開校 日本航空高校 北海道

学校法人 日本航空学園が、来年4月に道内初の「航空科」の全日制高校「日本航空高等学校 北海道」を開校します。

併設校「日本航空大学校 北海道」「日本航空大学校 石川」への進学による高専一貫教育や、語学留学・パイロット留学、英語等の国際教育・航空教育による4年制大学への進学により、**世界・航空業界で活躍できる人材を育成**します。



詳細は
こちらから↓



学科：航空科
定員：240名（1学年80名）予定
場所：泉沢1007番地の95

<航空科>

航空工学コース

○情報ステージ
ITに関する専門知識を身に付け、幅広く活躍できるIT人材を育成します。

○航空整備士・グランドハンドリングステージ
航空業界で活躍するために必要な基礎知識を習得。高専一貫教育で航空従事者を養成します。

国際コース

○総合ステージ
基礎学力の定着から大学進学や併設校進学、自己実現に向け、必要な学力を身に付けます。

○キャビンアテンダントステージ
航空基礎知識を学び、併設校進学による高専一貫教育で客室乗務員・グランドスタッフを養成します。

○アスリート・芸術ステージ
スポーツ・芸術活動を通して、世界で活躍できる人材を育成します。

学校の特色ある取組を紹介します！

千歳小学校 「科学に親しむ」

「小学生の理科離れが進んでいる」という話もありますが、本校では、公立千歳科学技術大学と連携した出前授業を行っています。7月13日（木）には6年生を対象とする理科実験教室を行いました。学生が講師として、光の屈折や圧力の実験を通して、科学の面白さを伝えてくださいました。



また、翌日の14日（金）には2・3年生を対象に市教委主催の「放課後子ども教室」を行いました。この日も公立千歳科学技術大学の学生が講師となり、子どもたちとともにバスボムづくりなどに取り組みました。目の前で行われる実験に子どもたちは目を輝かせ、知的好奇心がおおいに刺激されました。

信濃小学校 平和を考える機会を～「平和集会」

信濃小学校では毎年この時期に「平和集会」を全校で行っています。今年は7月14日（金）に全校児童が体育館に集まって集会形式で行いました。

実行委員会が進行を務め、まずは図書館司書さんが「いわたくんちのおばあちゃん」という、被爆体験の絵本の読み聞かせを行いました。その後、各学級から平和の願いを込めた折り鶴の提供とともに、平和へのメッセージが寄せられました。折り鶴は、下級生が上級生に教えてもらいながら、一羽一羽、平和の願いを込めていねいに折ったものです。最後には「平和集会宣言」を全校で確認しました。

平和な未来のために、伝統となっている信濃小学校の「平和集会」をこれからも大切にして、子どもたちが平和について考える機会を今後も作っていきたいと考えています。

なお、児童が折った折り鶴は、広島市に送ります。



富丘中学校 ボランティア活動～地域との連携～

富丘中学校では、年間3回、生徒会のボランティア活動である「プチボラ」に取り組んでおります。5月30日に1回目の活動が行われました。学校前の花壇をあずさ町内会の皆さんに事前に整備していただき、有志生徒約170名の参加によって苗植えが進められました。

今年も素晴らしい花壇となりました。学校前の通りは交通量も多いため、新たな取り組みとして、あずさ町内会、千歳地区交通安全協会からお借りした交通安全旗も活用しました。

今後も分担して草取り、水やりを行っていきます。



「心の教室相談員」って知ってる？

一部を除く市内の小学校14校には「心の教室相談員」がいます。心の教室は校内に週2日程度開設されており、相談員が児童の身近な相談相手となって、遊びや交流の中で心の悩みに耳を傾け、不安やストレスを和らげています。

もしも、友達や家族、先生に話しにくい悩みがあれば、心の教室相談員に相談してみてください。



子ども同士の交流やリフレッシュの場として、安心できる居場所づくりを心がけています！



今年4月から新しく相談員になった桜木小の花田さん

さいきんのわだい

石狩管内教職員体育大会を開催しました!

6月24日(土)に石狩管内の先生たちが一堂に会する石狩管内教職員体育大会が、4年ぶりに千歳市で開催されました。

教職員体育大会は、教職員の体育実技の習得や健康増進等を目的としており、バレーボールやテニス、サッカーなど全12種目で、力のこもった熱い戦いが繰り広げられ、全力で楽しむ先生たちの、子ども顔負けの笑顔が輝きました(@^@)~~~~



公立千歳科学技術大学学生ボランティア学習サポート事業について

千歳市では、長期休業中に学校が行う補充学習に公立千歳科学技術大学学生ボランティアを派遣し、教員が作成した指導計画をふまえた児童生徒への指導の補助を行っています。

令和5年度は7月24日(月)~7月26日(水)、8月16日(水)~8月18日(金)の期間で、市内の小中学校12校で実施されました。補充学習に参加した児童生徒からは「優しく教えてくれて、分かりやすかった。」などの声が聞かれました。



学校プールを使用した水泳学習を再開しました

千歳市では、今年度から各学校で水泳授業が再開されました。コロナによって長い間中止されていたので、学校の先生向けの講習会も開催し、安全面にも気をつけながらの再開となりました。水泳授業では、水中での体の動かし方や安全確保の仕方を学ぶことができるので、子どもたちにとって、夏を安全に過ごすためにもとても重要です。

今回は4年ぶりということで初めての子どもも多く、笑顔で楽しむ様子が見られました。



わたしのおすすめ図書~学校司書さんに聞きました~

〈桜木小学校 学校司書 相原 紫野さんおすすめ〉

「保健室経由、かねやま本館。」

松素めぐり 著/講談社

「サーマって、ちょっとしんどい」自分がいつでも人気者だと思っていたサーマは、ある日友達にそう告げられる。仲間はすれにされる事実にも耐えかねて訪れた保健室…の隣の第二保健室に手招きされ、そこでサーマはかねやま本館へと案内される。中学校の地下に広がる不思議な空間、そこは心が疲れた中学生専門の湯治場だった。

悩みは魔法のように消えるものではないけれど、この温泉につかると悩みを解決する糸口を見つかることが出来ます。魅力的なキャラクターたちと交流し、ゆっくり心を癒していく素敵なお話です。



〈緑小学校 学校司書 佐藤 奈々美さんおすすめ〉

「少年と子だぬき」

佐々木たづ 文、杉浦範茂 絵/ポプラ社

「きれいな光るもの」や子どもの歌声に興味津々の子だぬきは、人の住む町に行ってみたいとお母さんに頼みます。人間の女の子の姿に変えてもらった子だぬきが道で遭遇したのは、自転車で転倒した男の子でした。とっさに子だぬきがとった行動は…。

動物と人間のファンタジー、こんな体験はないはずなのに、読んでいくなぜか心に懐かしさが広がります。送り出す母親の心や、口には出さない少年の思いやりなど、あちこちに優しさが溢れていて、最後の光景はいつまでもこのまま留めておきたくなるような、愛おしさに満ちた童話です。



みどり台小学校 ~私たちの単P活動~

本校PTAは、開校年度からボランティア制での活動を進め、「できるひとが・できるときに・できることを」を基本理念とし、主に3つのボランティア活動を行っています。①交通安全ボランティア

は、年間を通して登下校の見守りを、②図書ボランティアは、朝の読み聞かせや折り紙講座、七夕企画等を、③発信ボランティアは、広報誌の作成に向け、行事の写真撮影や編集作業を行っています。どの活動も保護者の皆様から積極的にアイデアを出していただき、より良い活動となるよう、日々進化を遂げています。今後も学校・家庭・地域が一体となって、みどり台小学校を笑顔で溢れる学校にしていきます。



編集・発行 千歳市教育委員会(千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 0123-24-0819 (直通)

■FAX: 0123-27-3743

■E-mail: kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL: <https://www.city.chitose.lg.jp/>